

宇麻志神社から源重郎池まで

【片道 約6kmコース】

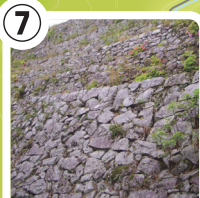
～村人を救った
水路をたどって～



源重郎池



ベダイさん
弁財天



源重郎池の石垣



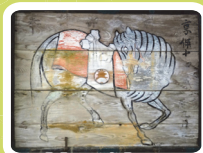
きたみね
北峯の滝



ゆず畑



うまし
宇麻志神社



神馬絵馬



こうあんげんじゅうろう
光庵源重郎
築池記念碑



おうご
小河薬師堂



みょうじんぼし
明神橋



矢野町菅小河

ゴール
スタート

感状山

羅漢石仏

矢野町森

矢野町瓜生

八柱神社

矢野町上

矢野駐在所

矢野小学校

矢野町菅谷

矢野町三木

荒神山

相生矢野郵便局



0m 250m 500m

宇麻志神社からの風景



げんじゅうろういけ

⑨ 源重郎池（源十郎池、池所ノ池）

小河（おおご）は東西を山に囲まれた南北に細長い谷間の部落で、もと天領（江戸幕府直轄）の一部落であった。細流小河の谷水だけが唯一の灌漑用水であったため、日照りが続けばたちまち飢饉がおこった。

享和元年（1801）小河の豪農二代源重郎は谷川の源をせきとめて新池をつくることを思い立ち、翌2年2月、私財を投じて着工した。この事業は三代源重郎に受け継がれ、8年の歳月と多額の費用をもって竣工した。以来、小河村には飢饉がなくなったといわれる。部落から4キロもある山奥のこの池は源重郎の名とともに今日も村人の心に生き続けている。

（身近な地域 相生 相生市教育委員会発行 平成18年より）

ゴール

光庵源重郎
築池記念碑

折り返し

⑨ 源重郎池

⑧ ベダイさん

石垣

⑦ 源重郎池の

⑥ 北峯の滝

⑤ 明神橋

④ ゆず畑

③ 宇麻志神社

② 小河薬師堂

① 光庵源重郎
築池記念碑

スタート

宇麻志神社から
源重郎池まで

こうあんげんじゅうろう

① 光庵源重郎築池記念碑

江戸時代、二代・三代の光庵源重郎が小河川上流に池所の池（源重郎池）を築いた。明治になり、光庵家は池所の池を村へ寄贈、明治29年、村は築池記念碑を建立した。赤穂郡長古田庸の題字、山島亭助村長の撰による。

おおご

② 小河薬師堂

中所薬師と呼ばれ一間四方の堂宇で、大鐘があったが軍用に供出し今は鐘楼のみが残る。耳の遠い村人が石に穴をあけ紐で通し祈願した石があると言われている。

う ま し

③ 宇麻志神社

うましあしかびひこぢのみこと

宇麻志阿斯訶備比古遲神を祀る村社。元は宇麻子神社と言い、祭神は蘇我馬子であったが、馬子をはばかって宇麻志と改称したと言われている。享保14年（1729）に奉納された白馬の絵馬には、「奉掛御広前 享保十四歳己酉九月吉日」と記されている。市の文化財に指定されている。

④ ゆず畑

小河地区では昔からゆずが栽培されてきた。そこで、ゆずを使って地域の活性化を図ろうと「小河ゆず栽培組合」を結成、ゆず製品の加工・販売をしている。ゆずの収穫時期は11月。

みょうじんばし

⑤ 明神橋

小河川にかかる明神橋のたもとに地元の人が作った案内板がある。橋を渡ると道は傾斜を増し山中に入る。獣よけのフェンスがあるが、鍵はかかっていない。北峯の滝までは500メートル。

きたみね

⑥ 北峯の滝

源重郎池への道の途中に北峯の滝がある。平成17年地元の人達により、地域の宝物として整備され、平成18年「小河 北峯の滝」の石碑が建てられた。

⑦ 源重郎池の石垣

道を進むと高さ約16m、幅約43mの石垣が現れる。石垣は何段にも積み重ねられている。

⑧ ベダイさん（并財天）

堤の東に平成2年の改修記念碑があり、その右に「ベダイさん」と呼ばれる自然石碑が建っている。石は大小二個あって小さい方は無銘で、大きい方は高さ1メートル余り、幅60センチ位で梵字と年月が刻まれている。「享和二年壬戌三月日」と刻まれ、二代目源重郎が池の普請を始めた年である。

梵字は「キリーク」と読み、戌年の守り本尊である阿弥陀如来を意味する。天保時代の絵図では、石碑は現在地の対岸、池の北西部に描かれている。

「矢野ふるさと散歩」より